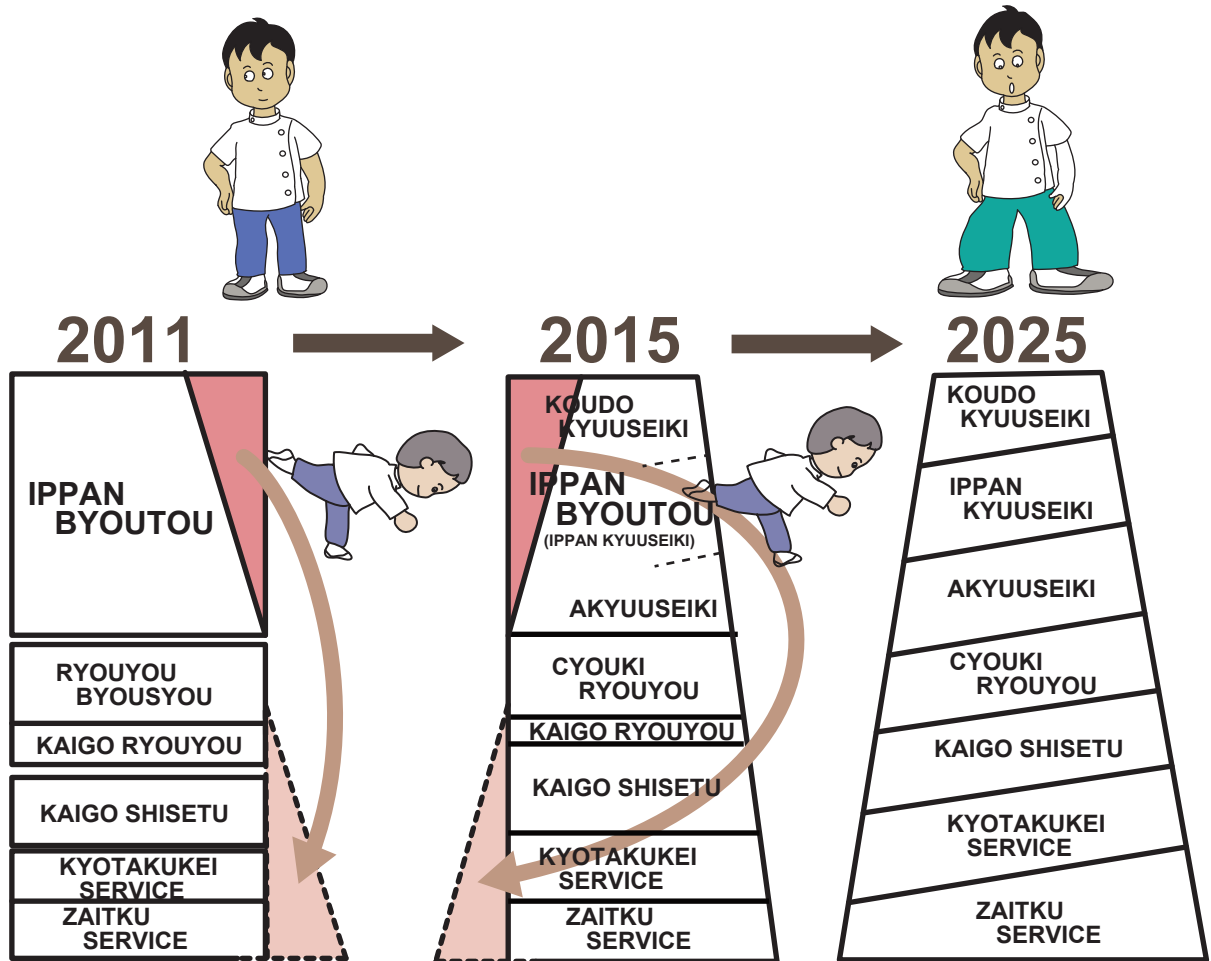


かくどけい

KAKUDOKEI 2013

108号





- 001 巻頭言 「ターニングポイント」 大島 正道
- 002 理事会報告
- 006 各部・委員会報告
表彰審査委員会
法人事業審議委員会
規約審議委員会
宣伝部
生涯学習部
厚生部
学術事業部
渉外部
教育部
学術部
調査資料部
福祉部
- 014 事務局だより
- 015 学会・研修会のお知らせ「むくみの診断と治療」・「皮膚運動学」
- 016 くまもと北から南から
- 018 大観望 「自分に足りないこと」 藤原 慶太
「介護予防事業順調です」 久米野 美由紀
- 019 他土会便り 「読書のススメ」 神奈川県 No. 249
- 020 第17回熊本県理学療法士学会御礼
- 021 学会・研修会印象記
- 022 学術事業部文献紹介
- 023 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 024 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 025 よろず運動療法相談所 ～小児小委員会～「どんな“オモチャ”を買ってあげていますか？」
- 026 賛助会員一覧
編集後記
- 027 事業予定表

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 ターニングポイント 』

副会長 大島正道
(熊本セントラル病院)

昨年の12月16日に行われた衆議院選挙で、自民党が圧倒的勝利を収めて3年3か月ぶりの政権奪還を決めたことは皆さんの記憶に新しいことであろう。12月26日に誕生した安倍晋三内閣の経済政策である「アベノミクス」が大いに持て囃されている。エコノミクスとかけ合わせた造語で、レーガノミクス(1980年代・米レーガン政権の自由主義経済政策)にちなみ、「財政出動」「金融緩和」「成長戦略」という「3本の矢」で、長期のデフレを脱却し、名目経済成長率3%を目指すこととある。

バブル景気は1990年(平成2年)頃から後退し始め、バブル経済も崩壊。それによって消費や雇用が悪影響を及ぼし、デフレになった。かつてはそのような状況であった1990年代から2000年代初頭までの経済を、「失われた10年」などと呼ばれていたが、サブプライムローン問題をきっかけに世界金融危機へ発展し世界同時不況へと陥った。このようにバブル崩壊以後、経済の低迷が改善に向かわなかったため、失われた10年と2000年代以降の経済を併せて「失われた20年」と呼ばれるようになった。

経済の低迷は企業への就職難を引き起こし、安定した職場を求めて国家資格である「理学療法士」への人気が高まって行った。1990年当時の理学療法士数は約1万人で養成校の数は48校であったが、2012年には約10万人と10倍の増加、養成校の数も251校と5倍の増加となった。理学療法を提供できる医療機関の施設数も急速に増え、2000年の回復期リハビリテーション病棟の新設や介護保険制度の導入により飛躍的に我々の活躍の場が広がると同時に理学療法士の大量採用が顕著となった。

現在、年間約1万人の新人理学療法士が誕生している。養成校数は飽和状態にあり、少子化の影響とやや不人気職?になり、定員割れを引き起こしている。学力の低下が叫ばれる中、理学療法士の質の向上への取り組みが急務であり、生涯学習システムも大幅な変更が行われている。

「熊本県理学療法士連盟」との共催企画にて、1月22・23日の両日、日本理学療法士協会 半田一登会長をお招きした特別講演会が、熊本総合医療リハビリテーション学院・宇城総合病院を会場に開催され両日を通じ500名近い会員の参加があった。テーマは「理学療法の未来を創る」。理学療法士を取り巻く様々な問題や課題と今後の展望を踏まえ、「今何を考えどう行動しなければならないのか」を幅広い視点からご講演頂き、「超高齢社会における理学療法士のあり方」「超急性期への理学療法の対応」「政策提言の実現に向けての取り組み」「教育のあり方」などなど興味深く考えさせられる内容であった。

熊本県理学療法士協会は今年の4月より「公益社団法人」として生まれ変わる。「アベノミクス」効果により急激な円安ドル高や日経平均株価上昇が起こり、デフレ下の長かった経済低迷からの脱却を目指す動きが連日報道されている。政局が変われば経済が大きく変化するであろう。今年の7月には参議院選挙が予定される。前衆議院議員の山口氏(日本理学療法士協会理事)の議員在任中の活躍をご承知と思う。理学療法士の未来は理学療法士の手で切り開いていくしかない。

「いつ変わるの!今でしょ!」

一人でも多くの理学療法士が政策に携われる日が来ることを切望する。



理事会報告

平成24年度第2回拡大理事会議事録（要約版）

日時：平成24年11月7日（水）19：10～20：30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

（理事）北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・

三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

（監事）寺川・中島

（部長・委員長）

福島（庶務部）・藤原（厚生部）・岸本（調査資料部）・
河島（保険部）・坂田（広報部）・今屋（学術部）・前田
（教育部）・岩田（学術事業部）・南野、當利（生涯学
習部）・木原（福祉部）・保田（事業部）・山下（表彰審
査委員会）・大籠（法人事業審議委員会）・溝上（糖
尿病小委員会）・市原（小児領域小委員会）・前本
（呼吸領域小委員会）

（ブロック長・地区長）

坂本（菊阿地区）・富田（西地区）・興呂木（中央地
区）・高山（東地区）・瀬音（北地区）・菅原（県北ブ
ロック）・塚島（八代ブロック）・水田（天草ブロッ
ク）・藤井（県南ブロック）

（事務職員）石黒・前田

欠席者：

（理事）前田・野間

（相談役）森重

（部長）山本（総務部）・久米野（財務部）・草野（宣
伝部）・岩下（IT事業部）・溝田（規約審議委員会）・奥
村（選挙管理委員会）・西村（スポーツ領域小委員
会）・西岡（熊本市ブロック南地区）

書記：藤本・田中（介護老人保健施設おとなの学校
本校）

1) 会長挨拶

（会長）お願い事が4つある。

1. 予算の執行には会費の納入が必要になる。楽天カードへ加入して頂きたい。
2. ホームページのマイページ登録をしておく、PT協会から新着状況のお知らせがくる。
3. 生涯学習システムで研修会を行う際各部で登録できるようにして頂きたい。
4. 再来年度の予算、事業計画を作るときに、新しい組織の割り振りで事業計画及び予算案を作りたい。

2) 平成24年度上半期監査報告

【寺川監事・中島監事】

（寺川）11月2日に書類の確認等を行った。（別紙参照）

3) 上半期監査結果報告、上半期事業の成果・改善点及び下半期事業予定、次年度新規事業について

【各部・委員会】

1. 総務部（欠席）

（坂崎）例年通り行っていく

2. 庶務部

（福島）会員管理を中心に行う。今年度から会員本人からの変更が出来るようになった。休会者の期間が4年間から1年間に変更になっている。

3. 財務部（欠席）

（坂崎）これから勘定項目ごとに決算をしなければならない。不測の事態の場合は理事会で対応する。

4. 厚生部

（藤原）復職支援事業を行う予定である。新人研修会は九州中央リハ学院を借りて、懇親会はホテルニューオータニを借りて行う予定である。

5. 調査資料部

（岸本）例年熊本県理学療法士学会でアンケート調査を2月頃行うが、来年は九州理学療法士・作業療法士合同学会で行う。

6. 渉外部

（坂崎）日本理学療法士協会と連携をとっていく。賛助会員との懇親会の準備を行っている。

7. 保険部

（河島）2回の保険診療研修会、医療保険・介護保険それぞれ開催予定。

8. 広報部

（坂田）年6回の広報誌を発行予定である。リニューアルを行う予定である。

9. 宣伝部（欠席）

10. IT事業部（欠席）

11. 学術部

（今屋）学術研修会を3回、理学療法士講習会を1回実施予定である。新しい企画で講習会を行う予定である。

12. 教育部

（前田）臨床教育者の育成プログラムの作成を行う予定である。また、管理運営教育班に関しては、

県の事業として、修了者70名のフォローアップという形でグループワークメインにした研修会を行う予定である。

13. 学術事業部

(岩田) 県学会は行わない予定である。公開講座を年2回行う予定である。

14. 生涯学習部

(南野) 新人教育プログラムを2日間、年に2回行う予定である。

15. 福祉部

(木原) 障がいを持つ子供の就学支援としての研修会を1回、一般向けの研修会を2回行う予定である。訪問リハ対策特別委員会の企業支援チームと専門性チームが福祉部と一緒にを行う予定である。

16. 事業部

(保田) 『PTあ!(ピタ)』っと健康講座をKKウイングでの講義と体を動かすような形でのスタイルに変えていこうと考えている。

17. 規約審議委員会 (欠席)

18. 表彰審査委員会

(山下) 2年に1回の全会員の表彰に関するデータの更新の時期なので、各施設に1部、表彰に関するデータ入力のご案内を行う予定である。

19. 法人事業審議委員会 (欠席)

20. 選挙管理委員会 (欠席)

(坂崎) 選挙に向けての対応を行う。新しい法人になった場合の選挙規程の検討を行う予定である。

21. 学会評議員会

(田島) 九州PT・OT合同学会を開催されるので、県学会の開催はしない。

22. 分野別小委員会

(野津原) 専門領域研究部移行に伴い検討を行う予定である。

23. 糖尿病小委員会

(溝上) 今年から小委員会の内部講師として研修会を開催予定である。糖尿病療養指導士の会員日程の更新を行う予定である。

24. 小児領域小委員会

(市原) 年2回の研修会、小児リハ開設推進事業を行う予定である。交通費について今後検討項目に入れて欲しい。

(坂崎) 移動費で年間100万かかっている。今後予算を考え検討していく。

25. 呼吸領域小委員会

(前本) 吸引セミナー1回と循環器系理学療法セミナーを1回行う予定である。

26. スポーツ小委員会:欠席

27. ブロック

(飯星) 目標としては、ブロック訪問時の参加率を

上げていく。各ブロック長からの連絡が一番全会員に周知徹底し易いのではないかと思う。

28. 熊本市ブロック菊阿地区

(坂本) 年2回の地区全体会を行う予定である。

29. 熊本市ブロック西地区

(富田) 4つの研修会と、西地区の全体会議を行う予定である。健康フェスティバルの担当になっている。

30. 熊本市ブロック中央地区

(興呂木) 年2回の会議と4回の卒後研修会を行う予定である。

31. 熊本市ブロック東地区

(高山) 地区会議を年2回、卒後教育研修会を4回行う予定である。

32. 熊本市ブロック南地区 (欠席)

33. 熊本市ブロック北地区

(瀬音) 会議を年2回、卒後研修会は年4回行う予定である。

34. 県北ブロック

(菅原) 市町村への参加事業として、6月に荒尾、1月に玉名で行う予定である。

35. 八代ブロック

(塚島) 年3回の会議、年1回の勉強会、卒後教育プログラム4回を行う予定である。

36. 天草ブロック

(水田) 5月に全体会議、年6回の定例勉強会と年1回の特別会議を行う予定である。

37. 県南ブロック

(藤井) 年2回の全体会議、年4回の卒後研修、年6回の勉強会を行う予定である。

4) その他

(中島) 来年度35回九州PT・OT合同学会について

期日：11月23日・24日

場所：崇城大学市民ホール

熊本市国際交流会館(建物2つを使用)

テーマ：「Heart&Science」

～先端科学 とりハビリテーション～

参加：1300人の参加予定

基調講演：「脊髄損傷に対する

細胞移植治療研究の現状と展望」

岡田誠司氏(九州大学)

特別講演：「能力とは何か？」

-できる/できないを仕分ける前に-

鷲田精一氏(大谷大学文学部教授)

教育講演 I：「終末期緩和ケア」

野尻明子氏

(熊本保健科学大学 作業療法士)

教育講演Ⅱ：「臨床で使える

膝関節理学療法のコツ」

今屋 健氏(関東労災病院)

公開講演：講師調整中

学会長：中島喜代彦

副学会長：島崎一也氏(作業療法士会会長)

実行委員長：北里堅二

副実行委員長：牛島由紀雄氏(作業療法士)

学術局局長：森本誠司氏(作業療法士)

事務局：大脇秀一・瀬河慎一氏(作業療法士)

以上、閉会

平成24年度 第9回理事会議事録(要約版)

日時：平成24年11月7日(水)20：35～21：20

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・佐藤・

三宮・田島・筒井・野津原・増田・光本

(監事)寺川・中島

(部長)南野・當利(生涯学習部)

(事務局員)福島・坂本・山内

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)前田・野間

(相談役)森重

(事務局員)山本・久米野

書記：藤本・田中(介護老人保健施設おとなの学校
本校)

1. 報告事項

1) 熊本県における理学療法士の認知度調査報告 について 【調査資料部】

(岸本)熊本県における理学療法士の認知度の検
証をアンケートで行った(配布資料を参照)。

2) 平成24年度上半期事業監査報告

【寺川監事・中島監事】

(会長)拡大理事会で話したため省略する。

3) 特別委員会報告

◇組織検討特別委員会

(会長)12月に最終的な組織や分掌規定の案を検
討して理事会にあげ、承認を得れば各部長に説明
を行う。来年度は上半期でブロック訪問時に説明
を行う。

4) 第2回JIMTEF災害医療研修コースにおける研修 報告 【渉外部】

参加者：林寿恵氏(阿蘇温泉病院)
(会長)九州ブロック士会長会議で研修報告を行
う。

5) 九州ブロック士会長会議議題提出

【坂崎専務理事】

(報告事項)

①学術担当者会議報告

②第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会進
捗状況報告

(協議事項)

①第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会学
会長について

(坂崎)来週の会議で合同学会の進捗状況報告を
行い、正式に中島氏を学会長として任命していただ
く。

6) 研修会等の名簿作成時の必須要件の変更につ いて 【生涯学習部】

①カードリーダーを使用しない場合

会員番号、カナ(姓)、カナ(名)、生年月日(西暦)

②カードリーダーを使用する場合：県外受講者の
場合

カナ(姓)、カナ(名)、生年月日(西暦)

※カードリーダーを使用しない場合は①の名簿
を作成し、生涯学習部まで送付する。

7) 第2回新人研修会への県外会員の履修について

【生涯学習部】

内容も全国統一のものであるため、県外会員7
名について受講を許可する。

(南野)金額と県外受講者に、どう対応したらよい
か。

(会長)全国協会に問い合わせ確認の必要があ
る。

8) 平成25年度管理者教育カリキュラム

(第1ステージ)について

【教育部】

日本理学療法士協会理学療法士講習会に位置
づけられるかを検討する。

(会長)現在検討中である。

9) 平成24年度事業計画等の修正・変更について

○第12回テーピング講習会(膝関節編)

【変更後】期日：平成25年2月3日(日)

○第7回臨床実習教育研修会

【変更後】場所：熊本リハビリテーション病院

2. 協議事項

1) カードリーダーの使用方法や単位、ポイントの内容に関する会議の開催について

【生涯学習部】

生涯学習システムの変更に伴い、研修会を行う際もカードリーダーを使用するようになった。そのため研修会を主催する部や委員会からそれぞれ2～3名選出してもらい、カードリーダーの使用方法や生涯学習システムについて伝達する会議を行いたい。

(飯星)ブロック・地区からも2名ずつ聞かせて頂きたい。

(会長)来年度は下半期ぐらいには各部や各ブロックに任せたい。予算的にはどうか？

(坂崎)事業交通費がつくだけである。

(会長)その時、資料は各部に配布するのか？

(南野)カードリーダーなどのマニュアルも変更して最新版を配布する。

(会長)開催する方向でよいか？

(理事)承認。(10/10名)

2) 宇城広域連合介護認定審査会委員の推薦について

【事務局】

任期：H25.4.1～H27.3.31

推薦数：2名

回答〆切：11/30(金)

※現委員：野田みどり氏

(大野橋デイスサービスセンター)

(坂崎)野田氏には連絡する。今月中にお願いしたい。

3) 大分県理学療法士協会創立40周年記念公開講演並びに記念式典・祝賀会について【北里会長】

日時：H25.2.24(日)

公開講演：10：00～

記念式典・祝賀会：11：10～

場所：トキハ会館

(会長)県学会がある為、行けない。返事は12月3日までにお願いしたい。

(大島)両副会長で出席の検討をする。

4) 熊本県医療・保健・福祉連携学会について

【野間理事】

平成25年3月2日に連携学会があり、「地域連携ケアシステムー各職種の課題とこれからの対策」としてディスカッションを予定している。シンポ

ジストとして、訪問リハを行っている方で地域包括ケアをご存知な方の紹介を今年中をお願いしたい。

(会長)事務局か野間理事に連絡をお願いしたい。

5) 日本理学療法士協会会費納入規程(案)について

【事務局】

意見提出の依頼あり ※回答〆切：12/20(木)
(坂崎)定款細則はホームページにもアップされているため、意見があれば、次回までをお願いしたい。

(会長)会費が早く入ってこないと前半の会の運営ができない。スムーズな会費の徴収に検討が必要である。休会が1年ごとに再更新となると、復会の手続きをしないと退会となる。それでよいのか？

6) 新人懇親会についての企画案とその予算について(第7回理事会継続審議)

【厚生部】

(光本)第7回理事会のアドバイスを基に、厚生部で会議を行い、来年度の事業計画予算案を出している。審議しなくても良いので報告しておく。

7) その他

(会長)第3回学術研修会が11月24日(土)14時から開催され、夕方に懇親会があり、挨拶と懇親会参加のお願いがきている。私が挨拶には行くが、懇親会は学術部で対応するように連絡してほしい。

(会長)12月2日(日)13時から第44回市民公開講座がある。挨拶を光本理事にお願いする。

(会長)次回以降の書記として、1月分は野間理事に、できなければ筒井理事にお願いする。

(中島)学会準備報告資料の表紙のシンボルマークを九州PTOT合同学会のシンボルマークとして今後も継続して使っていくのはどうだろうか？熊本県からの他の県に対する提案事項としてあげてはどうか？

(会長)熊本県理学療法士協会としてはOKという形で提案する。

(中島)今後の合同士会長会議の方で提案する。

以上、閉会。

各部・委員会報告

表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

表彰審査委員会では、各種団体・自治体等外部よりの表彰推薦依頼や日本理学療法士協会・熊本県理学療法士協会会員の各種表彰のための推薦根拠となる、資料の作成・管理をおこなっております。

平成 24 年度も残すところわずかとなりましたが、本年度、熊本県理学療法士協会ホームページより [会員 MY メニュー](#)⇒[表彰管理](#)⇒[各種フォームへ入力](#)をしていただいた会員様は、平成 25 年 2 月末現在、**322 名**に留まっており、全会員数の **17%**です。

『会員の表彰に関するデータ入力』の案内を、11 月 26 日発刊「かくどけい 106 号」に掲載しております。本年度中の入力を是非お願い致します。

<入力に関する問い合わせ先>

〒869-0532 宇城市松橋町久具 691
宇城総合病院 リハビリテーション部
Tel : 0964-32-3111 (内線 : 695)
E-mail : ukisogo-rehashien@reimeiki.jp
担当 : 山下 智弘

法人事業審議委員会 委員長 大籠 安男

年度末ですね。仕事にプライベートに何かと慌ただしい季節ですが、花粉症や黄砂、さらには pm2.5 と大気中も浮遊物？で慌ただしくなっていますね。さて、法人事業審議委員会活動ですが、今年度は 2 月の会議を持って終了しました。

今年度も日本理学療法士協会の理事会資料を中心に出来る限りの情報を取り、会長および委員で共有して参りました。我々が所属する日本理学療法士協会および熊本県理学療法士協会では様々な重要案件が山積する状況ですが、理学療法士の社会的地位は十分とはいえない状況ではないでしょうか？

超高齢化社会となり、医療費・介護保険財政圧迫は避けられない状況下、各種リハビリテーション関連の報酬単価は維持できるのでしょうか？報酬単価＝給与ですので、先々を考えると…。これが今までの結果だとすると 10 年後のためにできることは何なのでしょう？小さくてもいいので議論する場所・場面を身の回りに作ってみませんか？

規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<平成 24 年 1 月 11 日>

規約審議委員会平成 24 年度決算報告（仮）作成

<平成 24 年 2 月 14 日>

①平成 24 年度年間事業報告書および②決算報告書（最終）作成

③旅費等書類及び④備品管理台帳作成

⑤業務洗い出しシートの記入

①と④及び⑤は 2 月 14 日付メールで事務局へ送付

②と③は残金含め事務局持参の準備（2 月中に持参予定）

<平成 24 年 2 月 18 日>

残金を含む平成 24 年度決算報告書及び旅費等書類の事務局への提出

宣伝部 部長 草野 隆夫

平成 25 年 1 月・2 月は、活動や会議はありません。

<ユニホームの貸し出し>

平成 25 年 2 月 24 日（日）

熊本県理学療法士学会にて

平成 25 年 3 月 9 日（土）

阿蘇地区糖尿病フォーラムにて

生涯学習部

部長 南野 大佑

・IDとパスワードについて

1月下旬に全国協会より各会員宛にハガキが送られています。ハガキにはIDとパスワードが記載されていますので内容の確認をお願いします。今年度より各会員の情報や単位管理等について、マイページ上で一元管理となっており、マイページ上でのID、パスワードが必要になっています。パスワードが覚えにくい場合マイページ上で変更可能です。

・新人教育プログラムの履修履歴修正について

新人教育プログラムの履修履歴修正についての問い合わせが依然多い状態ですので再度ご説明致します。マイページ上からログインしていただきお知らせの項目に「★履修履歴★よくあるご質問、修正依頼など」がありますので、そちらに詳細が記載されています。方法としては領収書や生涯学習手帳の複写とともに所定の書類に記載し、日本理学療法士協会まで送付するようになっています。マイページをご確認の上、履修状況に間違いがある方は早急に対応するようにお願い致します。

・生涯学習システムや認定理学療法士制度について

新人教育プログラムから認定理学療法士取得までの流れや各専門領域研究部会でのポイントの詳細等について熊本県理学療法士協会のホームページでの新着情報の項目で「生涯学習システム」に資料を添付しています。内容をご確認下さい。

・研修会受講の際の会員カードについて

今年度からシステムの一元管理により単位認定する際は会員番号等の情報が必要になります。

※今後、研修会を受ける際は必ず会員カードをご持参下さい。



・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが、出来るだけメールにてお願い致します。

メールアドレスは… kpta.lld@gmail.com

緊急の場合は…

部長:南野大佑 (所属:熊本セントラル病院)

096-293-0538

厚生部

部長 藤原 慶太

今年度からポイント履修システムの変更に伴い、新人研修会と懇親会の会場を九州中央リハビリテーション学院とホテルニューオータニ熊本にて開催予定です。

関係各所の皆様には今年度も円滑に開催できます様、ご協力とご理解の程を宜しくお願い致します。

〈平成25年度新卒者研修会〉

期 日：平成25年6月15日(土)

14時30分～18時00分

場 所：九州中央リハビリテーション学院 講堂

内 容：「新人研修プログラム A-2 協会組織と生涯学習システム」

講 師：當利 賢一先生

対 象：会員

〈新人・役員懇親会(親睦会)〉

期 日：平成25年6月15日(土)

19時00分～21時00分

場 所：ホテルニューオータニ熊本

内 容：新人・役員懇親会(親睦会)

対 象：新人会員

学術事業部

部長 岩田 輝彦

平成25年3月11日 25年2月24日(日)に開催された、熊本県理学療法士学会の会場にて学術雑誌・書籍の貸し出しを行ないました。たくさんの方にブースへ足を運んで頂き、協会所有の学術雑誌や

書籍を手に取り、読んで頂くことが出来ました。今回はより多くの会員の皆様に貸し出しを行うことが出来ました。ありがとうございました。また、熊本市ブロック北地区の学会スタッフの方々にも設営など協力頂きまして大変ありがとうございました。今後も学術雑誌・書籍の貸し出しを行っておりますので、皆様のご利用をお待ちしております。貸し出し書籍一覧や貸し出し方法等はホームページに紹介していますのでそちらも参照頂きたいと思ます。

渉 外 部

部長 坂崎 浩一

・熊本城マラソン 2013 ボランティア参加

平成 25 年 2 月 17 日に開催された、第 2 回熊本城マラソンに北里会長以下 21 名の会員がボランティアとして参加。場所は 35 km 地点の第 6 関門チェックポイントでランナーの疲労がピークに達する地点。対応は沿道でのアイスマッサージ等が約 400 名、テント内でのストレッチ対応が 200 名であった。それぞれは短い時間の対応だったが、ストレッチ・アイスマッサージ等を受けたランナーは皆元気にレースに戻って行った。



・熊本市保健医療専門団体連合会創立 30 周年記念式典

平成 25 年 2 月 23 日、熊本市保健医療専門団体連合会の 30 周年記念式典が行われた。当連合会は、各団体の発展と相互親睦を深め、熊本市圏の地域医療システム推進と地域住民の健康と福祉を増進することを目的に昭和 57 年に設立されたもので、『医専連』の略称のもと、職種間の連携を基軸に熊本市民健康フェスティバルの開催や在宅支援ハンドブックの発行などを継続的に行い、当会からも役員を派遣するなどその運営には設立当初から深く関わっている。また、式典では、永年医専連理事として活動された小森田元副会長に感謝状が贈呈された。



・第 6 回熊本県医療・保健・福祉連携学会開催

平成 25 年 3 月 2 日、熊本交流会館パレアで第 6 回熊本県医療・保健・福祉連携学会が開催された。今回のテーマは「新たな他職種連携を求めて 点から面へ」、一般市民を含め多くの専門職の参加を得た。当会は「地域包括ケアシステム 課題とこれからの対策」と題してシンポジウムを企画した。

野間理事の座長のもと、行政他それぞれの専門職の立場から現状と課題そして連携のあり方についての提言がなされた。当会からも「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割」と題して会員の竹内氏が登壇、実りある意見交換がなされた。



～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

7月11日～14日にかけて起こった九州北部豪雨では、県内でも阿蘇市を中心に多くの方々が被災されました。加えて、3月11日には東日本大震災から丸2年が経ちました。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

教育部の前田です。第48回理学療法士国家試験も終了し、そろそろ合格発表の頃ですね。多くの受験した方に桜が咲く事を願っています。

教育部では、先の総会にてご承認いただきました事業計画を確実に実施できるように準備をしております。平成25年度もどうぞよろしくお願い致します。

各研修会等の情報は、熊本県理学療法士協会ホームページを通じて発信をしておりますので、ログインIDの登録、ならびに公益社団法人日本理学療法士協会（以下：JPTA）のマイページ登録（どちらも無料）をよろしくお願い致します。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：平成25年度の卒後教育班の活動は大きく変わります。各ブロック地区で行っておいりました卒後教育研修会が終了し、グレードアップした形で、2つの研修会となって生まれ変わります。これは専門・認定理学療法士取得のポイントとなる研修会で、「リスク管理研修会」と「問題解決に関わる研修会」です。どちらも今までの卒後教育班の目標としておりました医療人として、セラピストとしてまずは身につけておく必要のあることをより深く学んでいただけるようなコンテンツになっております。日程も概ね決定し、準備を進めているところです。是非多くの方にご参加いただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

◎臨床実習教育班：通算7回目の研修会が2月3日（日）に無事終わりました。多くの皆様にご参加頂き、

大変有意義な時間になりました。臨床実習教育班は、少し事業をスリム化し、いよいよ臨床教育者の育成プログラムに向けた準備を始めます。こちらも大切な事業となると思いますので、ご意見やご要望などいただけますと幸いです。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ（<http://www.kumamoto-pt.org/>）よりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム（第1ステージ）は平成25年度から、（公社）日本理学療法士協会委託事業として認可されました。長丁場なので参加は簡単ではありませんが、広く全国に知ってもらう事で、管理者育成の重要性を知っていただければと思っております。

もちろん第2ステージについても検討中です。皆様からも、ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jpまでご連絡下さい。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jpまでご連絡下さい。

あたたかい陽気の日が多くなってまいりました。すっかり春めいてきた昨今、会員各位におかれましては益々ご清栄のことと存じます。先日の総会を終え、次年度の事業に関して皆様の承認をいただきました。次年度の学術部事業計画におきましては、今年度同様中身の濃い研修会を計画できたと自負しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。ご質問などございましたら、imayamasami@yahoo.co.jp 今屋までお尋ねください。

《平成 25 年度 県協会主催事業》

『第 55 回学術研修会』（案内文書発送済）

テーマ：「筋の運動学と関節可動域制限に対する運動療法」

講 師：市橋 則明 先生

（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻リハビリテーション科学コース理学療法学講座運動機能開発学分野 教授）

日 時：平成25年6月15日(土)～16日(日)

会 場：熊本保健科学大学

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：50 名

（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申込み期間：平成 25 年 3 月 11 日 ～ 4 月 30 日

※申し込み多数が予想されます。ご希望の方はお早めにお申し込みください。

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

『第 56 回学術研修会』

テーマ：「ペインリハビリテーション」

講 師：沖田 実 先生

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学研究室）

講 師：松原 貴子 先生

（日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科学療法専攻教授）

日 時：平成25年9月8日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：100 名

申込み期間：未定

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

『第 57 回学術研修会』

テーマ：「リハビリテーションに必要な脳機能と画像の見方」（仮）

講 師：松元 秀次 先生

（鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター医局長 助教）

日 時：平成25年11月17日(日)

会 場：九州中央リハビリテーション学院

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：100 名

申込み期間：未定

申し込み方法：熊本県理学療法士協会 HP 申込フォームより

《平成 25 年度 日本理学療法士協会主催事業》

『理学療法士講習会(応用編)』

テーマ：「下肢疾患の理学療法

～局所機能のつくり方と運動連鎖の応用の仕方～」

講 師：園部 俊晴 先生

（関東労災病院リハビリテーション科主任理学療法士）

講 師：今屋 健 先生

（関東労災病院リハビリテーション科主任理学療法士）

日 時：平成25年7月6日(土)～7日(日)

会 場：熊本保健科学大学

対 象：理学療法士、その他医療専門職

定 員：46 名

申込み期間：2013 年 4 月 20 日～5 月 31 日(予定)

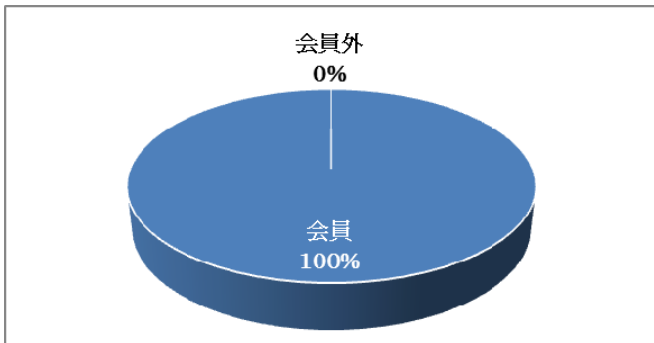
申し込み方法：メールにて直接（※3 月中旬ごろ日本理学療法士協会 HP に掲載されます）

会員の皆様に置かれましては日々ご健勝のことと思います。今回は平成 25 年 2 月 24 日に行われました第 17 回熊本県理学療法士学会のアンケート結果を掲載させていただきます。

- 配布総数 : 300 枚
- 回収率 : 25%

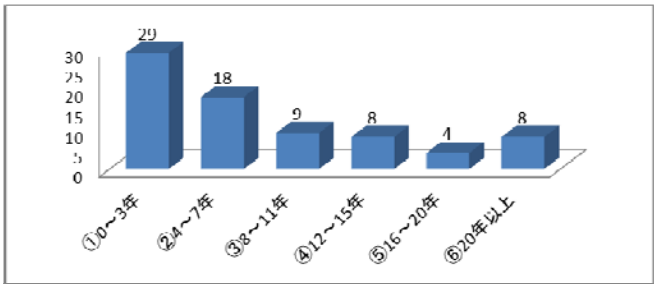
1. 所属をお教えて下さい。

1. 会員 (76) 2. 会員外 (0)



2. 経験年数をお教え下さい。

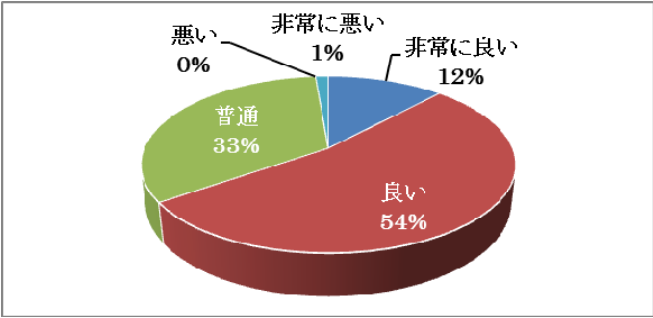
1. 0~3年 (29) 4. 12~15年 (8)
 2. 4~7年 (18) 5. 16~20年 (4)
 3. 8~11年 (9) 6. 20年以上 (8)



3. 学会開催時期・会場設定・日程 (スケジュール) は、いかがでしたか。

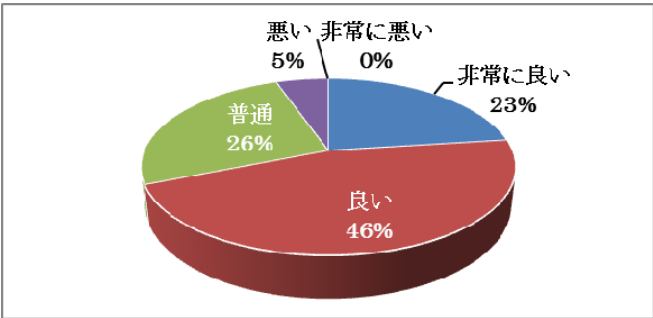
《開催時期》

1. 非常に良い (9) 4. 悪い (0)
 2. 良い (40) 5. 非常に悪い (1)
 3. 普通 (25)



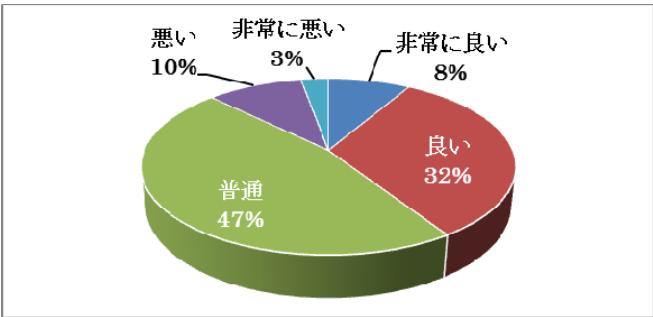
《会場設定》

1. 非常に良い (17) 4. 悪い (4)
 2. 良い (34) 5. 非常に悪い (0)
 3. 普通 (19)



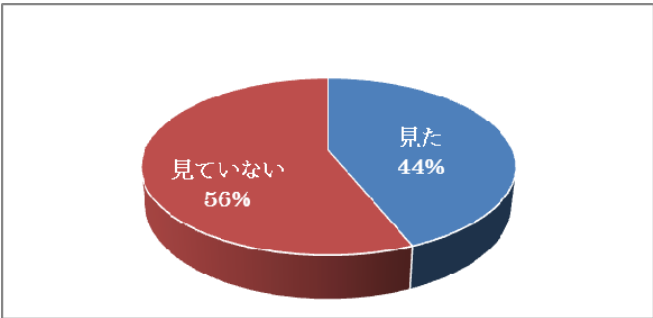
《日程スケジュール》

1. 非常に良い (6) 4. 悪い (7)
 2. 良い (23) 5. 非常に悪い (2)
 3. 普通 (33)



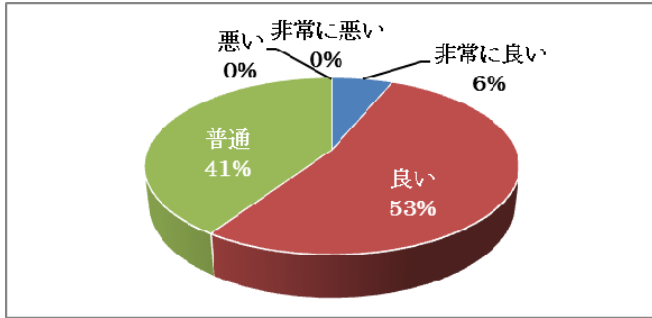
4-1. 学会 HP はいかがでしたか。

1. 見た (32) 2. 見ていない (41)



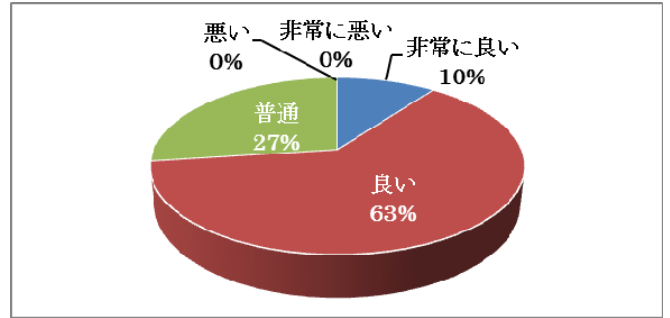
4-2. 学会 HP 見たと回答させた方

- 1. 非常に良い (2)
- 2. 良い (17)
- 3. 普通 (13)
- 4. 悪い (0)
- 5. 非常に悪い (0)



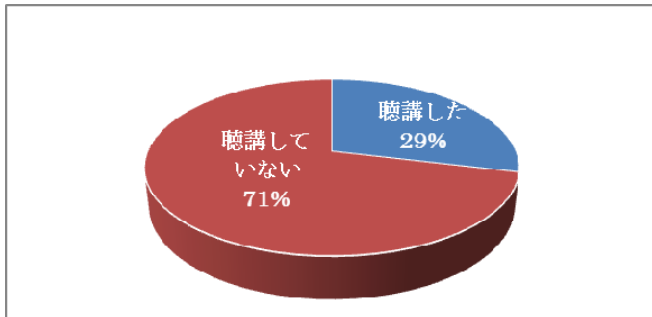
6-2. 演題発表を聴講したと回答された方

- 1. 非常に良い (6)
- 2. 良い (37)
- 3. 普通 (16)
- 4. 悪い (0)
- 5. 非常に悪い (0)



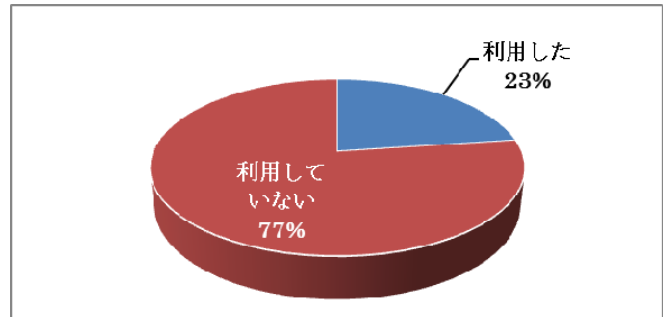
5-1. 指定報告「分野別小委員会」はいかがでしたか。

- 1. 聴講した (21)
- 2. 聴講していない (52)



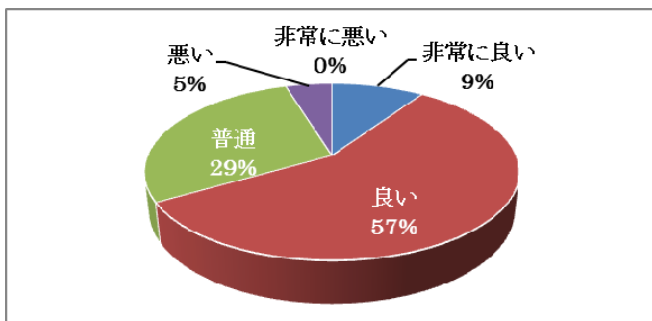
7-1. 談話室に関してはいかがでしたか。

- 1. 利用した (16)
- 2. 利用していない (54)



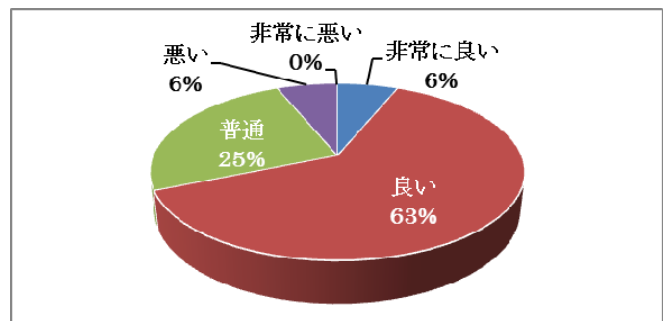
5-2. 聴講したと回答された方

- 1. 非常に良い (2)
- 2. 良い (12)
- 3. 普通 (6)
- 4. 悪い (1)
- 5. 非常に悪い (0)



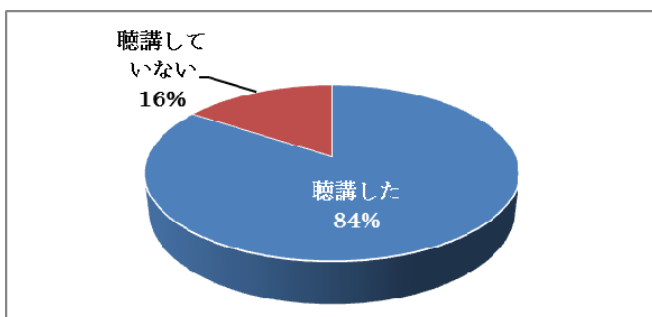
7-2. 談話室を利用された方

- 1. 非常に良い (1)
- 2. 良い (10)
- 3. 普通 (4)
- 4. 悪い (1)
- 5. 非常に悪い (0)



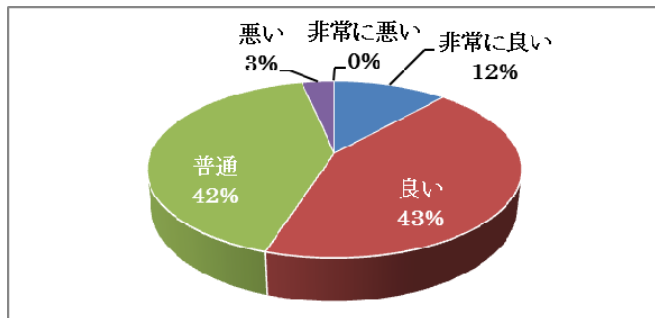
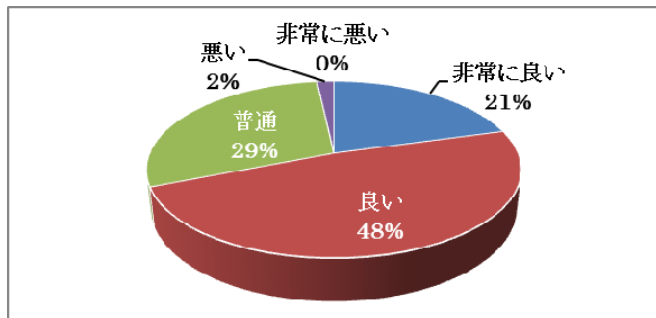
6-1. 演題発表の内容はいかがでしたか。

- 1. 聴講した (59)
- 2. 聴講していない (11)



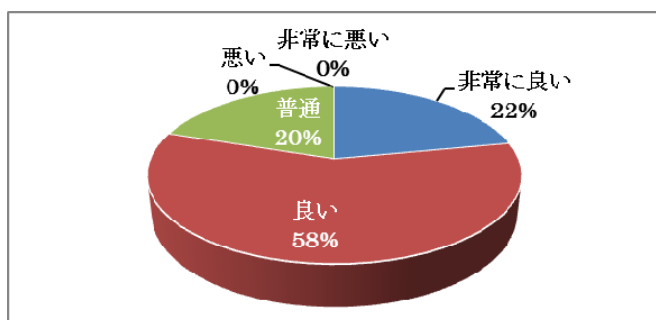
8. 一般公開シンポジウム「社会が理学療法士に期待すること」に関してはいかがでしたか。

- 1. 非常に良い (12)
- 2. 良い (28)
- 3. 普通 (17)
- 4. 悪い (1)
- 5. 非常に悪い (0)



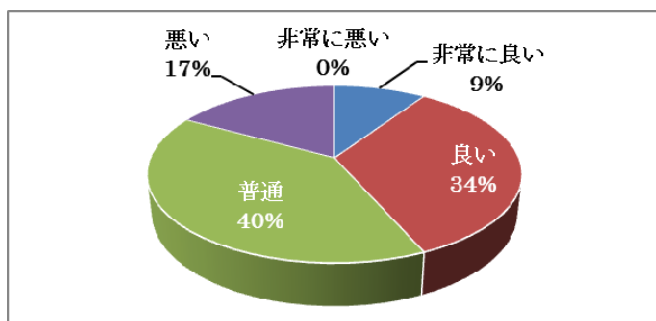
9. 指定演題 公開セミナー「学問としての理学療法の未来像」に関してはいかがでしたか。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 非常に良い (12) | 4. 悪い (1) |
| 2. 良い (28) | 5. 非常に悪い (0) |
| 3. 普通 (17) | |



10. 協会会員 公開シンポジウム「理学療法士が進むべき未来像」に関してはいかがでしたか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に良い (5) | 4. 悪い (9) |
| 2. 良い (18) | 5. 非常に悪い (0) |
| 3. 普通 (21) | |



11. 展示はいかがでしたか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に良い (7) | 4. 悪い (2) |
| 2. 良い (26) | 5. 非常に悪い (0) |
| 3. 普通 (25) | |

以上、簡単ではございますがアンケート結果のみご報告させていただきます。

ご協力頂きました会員の皆様には心より感謝申し上げます。



去る、平成 25 年 1 月 19 日 (土) に九州中央リハビリテーション学院において福祉部研修会 (介護保険領域における研修会) を開催致しました。

講師として株式会社シダー専務取締役 座小田孝安 先生 (作業療法士) をお招きし、「シダーが考える介護保険領域における展開～通所・訪問リハ事業における課題とは? 起業して皆さんに伝えたいこと」と題して講演して頂きました。参加者の職種は医療、介護、福祉関連職種と幅広く、起業されている方々の参加もあり盛況に開催いたしました。

講演前半においては、座小田先生が起業された経緯から、その思い・理念をお話いただき、人との出会いを大切にされている座小田先生の“熱いメッセージ”が会場全体に伝わりました。また、医療・福祉に必要な「志学誠商」のお話の部分では、改めて全体の「バランス」の大切さを感じました。

講演後半においては、今後のリハビリテーションを取り巻く状況を ICF の観点で踏まえ、訪問リハ・通所リハを中心にお話し頂き、地域包括ケアシステムの中で我々が組織としても、どのように行動をしていかなければならないかを考える貴重な機会となりました。

ご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

事務局だより

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 1/9 拡大理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/9 理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/11 熊本県医療・保健・福祉団体協議会臨時理事会
：熊本県医師会館
- 1/16 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 1/17 法人事業審議委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/18 くまもと在宅ケア多職種連携研修会
：ウェルパルクくまもと
- 1/20 糖尿病小委員会研修会
：熊本市リハビリテーション病院
- 1/22 日本理学療法士協会半田会長特別講演会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/23 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・研修会実行委員会：熊本県医師会館
- 1/26 都道府県理学療法士会会長集会：東京都
- 1/30 熊本市介護認定審査会
：熊本市健康センター新町分室
- 2/1 賛助会員懇談会：メルパルク熊本
- 2/3 臨床実習教育研修会挨拶
：熊本市リハビリテーション病院
- 2/6 第12回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/6 生涯学習システム説明会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/13 熊本城マラソンボランティア調整会議
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/17 熊本城マラソン：熊本市
- 2/24 熊本県理学療法士学会：熊本保健科学大学
- 2/27 法人事業審議委員会会議
：熊本総合医療リハビリテーション学院

会員数 (H25. 2. 25 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 158 名

ブロック名	施設数 〔 ()内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	272 (67)	1293
県北	68 (12)	210
八代	73 (10)	244
天草	42 (3)	90
県南	17 (1)	40
合計	471 (93)	1877

掲示板

■ 異動・休会・復会・退会等の手続きについて

原則として、平成 25 年度より Web 申請にてお手続きをお願いいたします。

※マイページ登録をお願いいたします。

また、県外異動・入会・休会・復会・退会に関し、熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。尚、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。

ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

※休会は 1 年ごとの更新になっております。現在休会中の方は今年度末で休会期間が終了いたします。休会継続、復会、退会のいずれかのお手続きを 2 月末までをお願いいたします。

■ 会費納入について

今年度の会費が未納の方は速やかな会費納入にご協力をお願い申し上げます。また、昨年度の会費が未納の方も早急に納入くださいますようお願い申し上げます。なお、未納の方へは日本理学療法士協会よりコンビニ・郵便局用の払込票が送付されております。払込票記載の期日までに納入下さい。

■ 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。



学会・研修会のお知らせ

むくみの診断と治療 ～明日から即実践出来る対処法～

【講習会内容】

「圧迫療法の概論と基礎」

むくみの治療には圧迫療法が有効ですが、不適切な圧迫は浮腫を悪化させてしまいます。圧迫療法がなぜ必要で、どのような圧迫療法が適切であるのかを解説します。

「圧迫療法の実際」

弾性着衣の正しい着脱方法を動画を交えながら概説します。また、弾性包帯による多層包帯法をデモンストレーションします。

「浮腫の考え方と治療の基本」

リンパ浮腫は局所性浮腫ですが、その病態には浮腫の全身性因子が絡んでいます。全身性浮腫の病態とリンパ浮腫への関与、それに基づいたリンパ浮腫の治療について概説します。

「リンパドレナージの実際」

MLDの理論をふまえての効果的なリンパドレナージの基本手技をデモンストレーションします。

記

開催日：平成 25 年 5 月 18 日（土）9：30～16：30

会場：アクロス福岡 607 会議室

福岡県福岡市中央区天神 1-1-1

講師：●小川佳宏 先生（リムズ徳島クリニック院長）

●高西裕子 先生（リムズ徳島クリニック
看護師）

●廣田彰男 先生（広田内科クリニック 院長）

●植田仁美 先生（看護師 MLD/CDT
認定セラピスト）

参加費：8,000 円

参加申し込み・問い合わせ

主催：NPO 法人 日本リンパドレナージスト協会

連絡先：<http://www.ldaj.or.jp/>

皮膚運動学 ～福岡会場～

【講習会内容】

皮膚あるいは皮下の筋膜は従来よりさまざまな治療対象として用いられていたが、皮膚の運動学や運動力学特に、関節運動に伴う皮膚の運動方向について記されたものは筆者が知る限り見たことが無かった。

運動時に皮膚が動くことはあまりにも見慣れていて、著者にはそれ自体が何か運動と関係するなどと考えることもなかった。

手術後の瘢痕化が関節運動に影響することは多く経験していても、その影響の程度については不明であった。

皮膚が関節運動や動作に伴い動くのは当然としてその法則性に注目した。そしてその法則をサポートすることを考えるようになって運動療法に応用可能であることが明確になりつつある。

腱へのアプローチ、骨突出部へのアプローチ、拮抗筋のある部位へのアプローチ、皮膚緊張線へのアプローチなどにより関節運動、姿勢・動作にどのような変化が生ずるかについて述べさせて頂く。

記

開催日：平成 25 年 5 月 19 日（日）10：00～16：00

会場：電気ビル 本館地下 2 階 8 号会議室

福岡県福岡市中央区渡辺通 2 丁目 1 番 82 号

講師：福井 勉 先生（文京学院大学 保健医療技術学部
理学療法学科 教授・理学療法士）

参加費：12,000 円

参加申し込み・問い合わせ

gene

http://www.gene-llc.jp/seminar_info/?id=1357880691-759047



八代ブロック

塚島 靖博

朝は、まだまだ寒いですが、昼間は春の気配が感じられるようになりました。日本の北と南では正反対ですね。

本院でも、感染性胃腸炎やインフルエンザの発症で病棟から患者移動が出来ず、ベッドサイドでの治療を約2週間。手洗い、アルコール消毒、歩行器や機器の消毒が非常に大変です。

1月23日には日本理学療法士協会 半田一登会長が、八代・天草・県南ブロック対象に宇城総合病院で講演会が開催されました。若い理学療法士の先生方にたくさん来て頂き色々と質問も出ていました。

講演会終了後に、半田会長や理事の先生方と懇親会がありましたが、裏話などとても熱く語っていらっしやいました。頭が下がるばかりです。

後一年ブロック長を続けますので今後ともよろしくお願い致します。

県北ブロック

菅原 大志

ノロウィルスやインフルエンザなど、色々流行した冬でしたが、皆様如何でしたか。この原稿を書いているのは2月中旬ですが、梅の花も随分ほころびかけ、春の訪れも近づいているようです。この欄が皆様の目に届く季節にはどんな花が開いているでしょうか。

御存じかと思いますが、1月22日、23日の両日、半田日本理学療法士協会会長が来熊され、特別講演会を行われました。テーマは「理学療法の未

来を創る」。現在の医療情勢や今後の見通しを、人口動態や経済状況、政策の方向や他の医療福祉団体との関連も含めながら分析され、それに対して我々理学療法士のなすべきこととは何か、非常に具体的なビジョンと方向性を示され、またその熱気に打たれた1時間半でした。私やブロックの会員の皆様も多数参加され、当日県北ブロックからは20数名、全体で200名以上、両日併せての参加者は500名に上ったと伺っています。それだけの数の理学療法士が危機感を抱いてこの会に参加して頂いたものと思います。私はこれ自体で、理学療法士の仲間たち、そして理学療法の未来は、まだまだ大丈夫じゃないかと思います。

早いもので、今年度最後のブロック活動報告になりますが、今年度内の事業計画予定は、12月の卒後教育研修会で完了しておりますので、特にご報告すべき大きな活動はありませんでした。年度末に向けて残務整理を行いました。また、当ブロックは正副ブロック長体制で任期を各1年としておりますので、次年度のブロック長への業務引継ぎを行いました。平成25年度、県北ブロックのブロック長は、菊池中央病院の浦上洋純先生にご担当頂く予定です。宜しくお願い致します。

私、本年度初めてブロック長の任をお受け致しましたが、何かとお世話になり有難うございました。決して十分なお世話は出来ず、皆様にはご迷惑をお掛けすることばかりでしたが、ブロックでの活動に参加させて頂き、各施設の皆様との繋がりが出来、同時に執行部の先生方やその活動に触れさせて頂く機会を得て、大変勉強になりました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。有難うございました。今後とも宜しくお願い致します。

天草ブロック

水田 順司

天草ブロックからの活動報告です。1月18日に天草リハビリテーション研究会で新年会を開催し、36名の先生方にご参加いただきました。他協会との親睦を深める良い機会となり、次年度の合同勉強会へ向けても良い意見交換ができました。最後

の締めには、人生初のマックのドライブスルーを徒歩で通過するという体験もでき、最後まで楽しい時間を過ごさせていただきました。



天草中央総合病院 金子辰幸先生

2月16日には特別講義としまして成尾整形外科病院の城内若菜先生を講師としてお呼びし、「骨盤帯から診た体幹機能の評価と治療」と題し講義をして頂きました。土曜日の午後に開催し、12名の先生にご参加いただきました。骨盤帯、股関節、仙腸関節に対する評価からはじまり、胸郭の役割、評価について実技を交えて約4時間という短い時間でしたが、最後まで分かりやすく指導していただきました。



成尾整形外科病院 城内若菜先生

今年度の天草ブロックの活動は3月の定例勉強

会にて臨床3年目の先生方に「ケーススタディ～関節可動域制限について～」と題し、症例発表を持ちまして全日程を終了となります。今年度講師を務めて頂いた講師の先生方、並びに特別講義でわざわざ天草までお越しいただいた城内先生にこの場をお借りしてお礼申し上げます。また、次年度もブロック活動へのご協力をお願いいたします。

県南ブロック

藤井 崇浩

2月のニュースで、子ども手当搾取容疑で大阪の両親が逮捕された事件が報道されました。数年前には家族の死亡届を出さずに年金を不正受給していた事件など、日本人の倫理観の欠如と考えられる事件がみられております。また、体罰を受けての高校生の自殺や、女子オリンピック柔道監督による体罰への告発など、教育者としての資質を問われるような事例も相次いでおります。

私たちが臨床実習において学生指導を行う機会がありますから、自戒していく必要があると考えております。テレビでもおなじみの臨床心理士の植木理恵氏によると、当事者間に権威の差があり、何らかの決定権を握っている状態などに、パワハラやセクハラなどが起こりやすいそうです。教師という立場であるとか、監督であるとかという立場としては、確かに成績や選考などの決定権がありますので、ハラスメントが生じやすいのも納得がいきます。私たちが臨床実習指導者として対峙する時にも、これらのことを肝に銘じて接していく必要があると思います。

さて県南ブロックでは、2月27日に芦北整形外科の沖田PTにより「右腋窩熱傷瘢痕拘縮に対するアプローチ」のテーマで勉強会を開催しました。評価法やアプローチ法について、活発な質問・意見交換がなされました。ブロック会員の皆さまそして沖田PT、ありがとうございました。

私自身、今年度初めてブロック長という立場で役割をいただき、不十分な点も多かったことと存じます。来年度は公益法人化となり新たな役割も出てくるかと存じますが、微力ながら貢献して参る所存でございます。

大 観 望

『自分に足りないこと』

厚生部部長
竜山内科リハビリテーション病院
藤原 慶太

「大観望」の原稿を考えている現在、各高校・大学の入試試験が行われているのを出勤時の渋滞で実感しているのですが、この時期になると学生時代を振り返って考えてしまいます。今になって高校生・専門学生時代に「あの時～しとけば良かった」や「あの時～して良かった」など考えると、将来の選択肢を自分で少なくしていたと思う反面、あのときの判断が出来たからこそ自分が理学療法を対象者様に提供でき、仕事のやりがいを感じている、と思うことがあります。この「将来の選択肢」は理学療法士にとって重要なことだと思います。

私たち理学療法士が治療や指導を行うことで患者様の生活手段の選択肢を増やしていくことができ、その考えが不十分だと選択肢が少なくなってしまうからです。その為にも、自分の知らない事、知らない知識に気づき、そのことを学び少しでも患者様の将来の選択肢を増やすことが出来ると思います。自分の努力次第で患者様がより良い生活が出来ると思い、ふと今の自分自身を見つめなおすと、「足りないこと」が多々あることが分かりました。それでも、他にもあるのに気づくことが出来ていないかもしれせん。

実際に今まで多くの患者様の退院に関わってきて、退院時の指導を行い数日経ってから不安になったことが多々あり、後悔する事があります。

このことを踏まえて、これからは、さらに経験年数を重ねて、業務の中で「足りないこと」に気づくことを意識し、後輩を指導するにあたって自分はできているのかを確認し「足りないこと」を補えるよう取り組んでいきたいと思っています。そして、最善の「選択肢」を患者様に提供・提案できるよう、日々、理学療法士として過ごしていきたいと思っています。

『介護予防事業順調です』

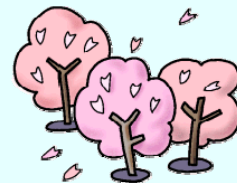
財務部部長
介護保険指定居宅サービス事業所
(株)ミタカ
久米野 美由紀

介護予防事業を始めて6年。一次予防事業を中心に仕事を行っているが、一般の高齢者の方に話をするとき、“理学療法士”という言葉が随分認知度を上げていくのを感じる。私のいつもの格好（ジャージ姿）には、???という表情が見受けられるものの、「リハビリの仕事でしょう」という答えが聞かれるようになってきた。

弊社では、理学療法士1名、健康運動指導士2名、健康運動実践指導者1名と3名の非常勤（管理栄養士、歯科衛生士、健康運動実践指導者）で活動を行っている。事業を始めた当初、わずか2市町村だった契約も今や20市町村と何らかの事業を行っている。介護報酬とは縁のないところでの活動だが、理学療法士はどんなことができるかということ、行政に知ってもらうには絶好の場である。

弊社の本来の業務は、介護保険での福祉用具貸与・購入、住宅改修等なので、いま私が行っている介護予防事業とはある意味相反する仕事内容のようだが、高齢者という大きな枠組みで見ればどちらも大きな必要性を感じている。

医療での理学療法分野も年々細分化・専門化されて、医療現場のことは今や「浦島太郎状態」の私だが、地域の高齢者の健康寿命にどれだけ関わっていかれるか・・・が今の私の大きなテーマ。また、複数の市町村で介護予防サポーターの養成講座も実施しているが、地域には本当に多くの宝（元気高齢者）が存在していることを実感できる日々だ。



池士会 便り 神奈川

『読書のススメ』

私は自他共に認める「本の虫」である。純文学、娯楽小説、ノンフィクション、絵本等ジャンルは問わず、本なら何でも好きである。そんな訳で休みの日には本屋を何軒かハシゴし、面白そうな本を求めてブラブラするのが常である。

そうすると、巷には面白い本、ためになる本がたくさん溢れていることに気付く。そんな本をできるだけ多くの人に知って貰いたいと思っているので、「この本、面白いから読んでみて」と、なかば押し付けるように部下に読了した本を渡してみるのだが、何ヶ月たってもリアクションがないことがよくある。堪えきれずに「どこまで読んだ？」と訊ねてみると、「すみません。(約300ページ中の)20ページまでしか読めてないです」と、とても申し訳なさそうな言葉が返ってきたりする。そんな時は、「読みたくもない本を押し付けて悪かった。上司の立場を利用して読書を強制しているという点で、これはパワハラの新種、読ハラなのか？」と、当方も申し訳ない気分になる。私は、ただもう純粋に読書の面白さを多くの人に知ってもらいたいと願い、できれば読んだ本の内容を酒の肴に若者と語り合いたい、接点を持ちたいと少し不純に切望しているだけなのだ。

若者の活字離れが進んでいるようだ。このような見方に異を唱える向きもあるようだが、当院の若手職員を見ているとそう思わざるを得ない。業務に関する専門書は一所懸命読むのだが、それ以外の書物はほとんど読まない。勿論新聞を購読している者などほとんどいない。何故読書をしないのかと問うと、「時間がないから」とか「興味がないから」という返答が決まって返って

くる。「売れっ子芸能人か?」、「普段本を読まないのによく難解な専門書を読んで読解できるな」などというツッコミを入れたくなるのを必死にこらえ、「読書のススメ」を試してみるのだが結果は芳しくない。

何故か。少し考えてみた。どうやら当方の説明の仕方に問題があったようである。一般論として、「人生が豊かになる」とか「政治や経済に興味関心を持つことは社会人として当然」といった言辞で書物や新聞を読むことの意義を説いても、即時的な自己の利に興味関心の高い当世若者気質にはフィットしなかったようである。そこで、書物(特に小説)を読むことが、我々医療従事者にとってどのように役立つのかという観点—このような見方は読書愛好家からすると邪道もよいところなのであるが、読書の楽しさを知ってもらうという目的を達成するために手段の正邪にはあえて目を瞑ることにする—から、読書の効用についての管見を述べてみたい。

読書(小説)の効用の筆頭として、「他者への共感力の感得」を私は挙げる。小説では登場人物の心の動きが克明に描写されていることが多い。そんな時に私がしばしば感じるのは、「この場面でこんな感情を持つ人がいるのか、こんな考え方をしているのか」といった驚きを通して得られる、自分と他人は結局異質であることの再認識である。多くの人にとって、これまでの自分の人生を通じて得た価値観や思考様式からはなかなか逃れられるものではない。しかし、様々なバックグラウンドを有する登場人物にあふれた小説世界は、様々な感情がうごめく見本市のようであり、その世界に触れることで自己の価値観や思考様式を再構築する可能性に開かれていると思うのである。その結果、自分とは異なる他者の物事に対する見方、感じ方に対する一定の配慮や共感する力を感得できるのではないだろうか。このように考えると小説は我々のような医療従事者にとっての貴重な教科書のようにも思えるのだが、皆さんは如何お考えだろうか。

新しい年を迎えた折でもある。何かを始めるのにこれほど相応しい時はない。拙稿を機に、読書を試してみようと思った方が少しでもいて下されば幸いである。

第17回熊本県理学療法士学会御礼

御礼のご挨拶

学会長 鏑木 誠

皆様のご協力を頂き、第17回熊本県理学療法士学会を無事終えることができました。ありがとうございました。今回の学会は、会員の皆様に新しい情報を届けることができるよう「理学療法士が進むべき未来像」をテーマに掲げ、精力的に活動してまいりました。ご参加いただいた参加者数は、387名でした。また、発表して頂いた演題数は、指定演題も含め46演題でした。シンポジウムでは、初めて、外部の関連団体から3名の講師をお招きし、理学療法士に期待することについて現在の時代背景を踏まえて貴重なご示唆を頂きました。また、分野別小委員会からは各委員会の協会活動をご報告して頂き、指定演題では県内でも先駆的な各領域からのご報告を頂きました。若い会員の方に限らず、大変、興味深く参考になる内容の発表を聞くことができました。そして、協会会員シンポジウムでは、会員の皆様の生の声を基に、理学療法士個人として、また、協会として今後どのように進んで行けば良いのか考えることができましたのではないかと思います。展示ホールでは、各企業や県内勉強会・

研究会の紹介が行われ、新しい情報を会員の皆様に提供できたのではないかと思います。以上のように、今回の学会ではさまざまな内容の新しいチャレンジを試みました。これら内容は、今後の熊本県の理学療法士の在り方に一石を投じたのではと思っております。今回の学会は終わりましたが、学会に関する情報は可能な限り公開し、今後の協会組織や理学療法士個人の活動に有効に活用して頂けるようにしたいと思います。

私の力が及ばず、いろいろな面で皆様方にご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。しかしながら、当日に行った参加者への学会アンケートの結果でも良い評価が半数を超えましたことは、会員の皆様のご協力があったからこそその結果だと思っております。今後も引き続き、協会会員で力を合わせて連携を強化し、交流を深めることで、患者様や県民の皆様の健康増進に貢献でき、ひいては、我々、理学療法士が益々発展できること願っております。

ご協力、本当にありがとうございました。

第17回熊本県理学療法士学会を終えて

準備委員長 金子 真一

去る2月24日、熊本保健科学大学にて、第17回熊本県理学療法士学会が開催されました。テーマを「理学療法士が進むべき未来像」とし、これからの理学療法のあり方を会員のみならず、一般の方々の意見も聞きながら考えてみよう企画いたしました。

分野別小委員会の活動報告・一般公開シンポジウム「社会が理学療法士に期待すること」。指定演題公開セミナー「学問としての理学療法の未来像」・公開会員シンポジウム「理学療法士が進むべき未来像」・一般演題・賛助会員等による展示ブースなど盛りだくさんの内容でした。

一般演題は口述ポスター合わせて43題の発表があり、各会場で活発な意見交換が行われていました。

一般公開シンポジウムでは、熊本県地域リハビリテーション支援協議会の古閑博明氏・熊本県看護協会の道端由美子氏・熊本障害者スポーツ指導者協議会の山本行文氏よりご講演頂き貴重なご意見を頂きました。各職種と連携を深め、地域で結びつきを深めることの重要性を再認識しました。

指定演題公開セミナーでは、運動器理学療法領域で加藤浩氏・神経理学療法領域で勝田由希子氏・生活支援理学療法で大久保智明氏よりご講演いただきました。先駆的

な臨床の理学療法の紹介と教育的視点での発表をお願いしたところ、参加者から「分かりやすかった」「発表の時間が短くもっと聞きたかった」などの意見が多く聞かれていました。

公開会員シンポジウムでは、事前に会員へ依頼したアンケート内容を鏑木学会長が分析し、北里会長に質問する方法で行われました。アンケート結果に対し北里会長の協会活動を踏まえての分かりやすいコメントを聞くことができ、今後の協会の方向性なども聞くことができました。少し参加者からの質問などが少なく、ステージ上だけのシンポジウムになってしまったことが残念でした。

参加者の総数は、会員が367名。非会員及び一般参加が20名でした。

抄録集に誤りがあり、混乱を招いてしまいましたことをお詫びいたします。ご講演いただいた先生方、また学会前日及び当日早朝から動員されたスタッフの皆様、そして、参加者の方、皆様のおかげで非常に内容の濃い学会が実施できたと思っております。ここに、関係するすべての皆様にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



学会・研修会印象記

『第34回九州理学療法士・作業療法士 合同学会に参加して』

にしくまもと病院 中野 優恵

平成24年11月17～18日両日、長崎ブリックホールで開催された九州理学療法士・作業療法士合同学会に参加してきました。今回は、「術後早期の内側広筋の収縮が術後の改善に及ぼす影響」という題目でポスター発表を行ってきました。内容としては、当院にて、膝関節半月板損傷で関節鏡視下手術施行後の患者様を対象に、術前、術後1日、1週間、2週間目の内側広筋の収縮を超音波画像診断装置で計測し、比較したものです。比較検討を行ってみると、術前から収縮が入りやすかった症例と入りにくかった症例が認められました。その2群間では、術後の回復段階にも差が認められたため、考察を加え発表を行いました。臨床研究としては私自身初めてであり、超音波画像診断装置を用いた発表も少ないことから、今後研究を行っていくにあたり、様々な意見を頂きたいという思いも持って学会へ臨みました。

発表時には多くの参加者が集まって下さり、質問やアドバイスを頂くことができました。内容としては、研究するにあたり、統計の行い方についての意見が多く、半月板損傷でも、内側半月板損傷と外側半月板損傷や前節と後節など部位別で検討を行ってみるとまた違う結果が見えるのではという意見も頂きました。それによりまた研究の幅も広がり、継続して研究を行っていくこともできると感じました。超音波画像診断装置の使用に関しては、興味深く、是非継続して研究を行ってほしいとの意見を頂くことができ、自信に繋がりました。発表はやはり緊張しましたが、夜は皿うどんや刺身など、本場長崎の味を楽しむことができ、それも一つ参加して味わえることだと思いました。

学会発表を行うことで、他院の先生方と交流することもでき、違った視点からの意見を聞くことで、自分では見つけることができなかつた問題点に気付くことができ、新しい考え方が出来る様になったと感じました。今後も、今回得た経験を研究にも臨床にも生かしていきたいと思えます。

『第17回熊本県理学療法士学会に参加して』

熊本セントラル病院 永津 知直

平成25年2月24日、熊本保健科学大学で開催された第17回熊本県理学療法士学会に参加し、発表を行いました。

今回の県学会は、「理学療法士が進むべき未来像」というテーマのもとで開催されました。午前中は、メイン会場で指定報告 分野別小委員会、口述発表が4会場に分かれて発表が行われ、一般公開シンポジウムとして「社会が理学療法士に期待すること」という内容で講演がありました。午前中は口述発表・一般公開シンポジウムを聴講し、他職種から見た我々理学療法士が社会に求められている役割や今後理学療法士が職域を増やすために、社会に対して自ら積極的に参加しアピールしていくことが大事であることを改めて気づかされました。

今回初めてポスター発表をさせて頂きました。先輩方からのアドバイスをもとに、調査を行い発表に至ることが出来ました。思考錯誤しながら1つ1つ調べることで、調査の難しさや面白さも感じました。ポスター発表はフリーディスカッション形式で午後から行われ、発表の際はとても緊張しました。発表後は座長や多くの先生方から貴重なご意見を頂き、次回の研究内容や臨床へ生かしていこうと思いました。

学会発表を通して、限られた時間の中で他者に伝えることの難しさも実感しました。理学療法士としての知識・技術を向上させるためにも、今回の内容を生かしステップアップ出来るように、日々の臨床現場で取り組んでいきたいと思いました。また、今後も様々な学会に参加し、他施設の先生方の交流を深め、私自身理学療法士としての視野を広げていきたいと思えます。発表後は安堵感と充実した1日を過ごせたと達成感も感じる事が出来ました。

学術事業部文献紹介

『Muscle Wasting and Resistance of Muscle Anabolism: The "Anabolic Threshold Concept" for Adapted Nutritional Strategies during Sarcopenia 』

著者 : Dardevet D, Rémond D, Peyron MA, Papet I, Savary-Auzeloux I, Mosoni L.
The Scientific World Journal. ID 269531,6 2012;

筋蛋白は健康成人においても筋活動に伴い異化状態となりますが、食事により同化状態へと変化します。これにはアミノ酸とインスリンが関与しています。身体に炎症反応が生じ、糖質コルチコイドやサイトカイン、酸化ストレスなどの異化作用因子が増加すると、アミノ酸とインスリンによる筋蛋白同化作用が阻害されることが明らかとなっています (anabolic resistance : 同化抵抗)。同化抵抗は筋肉の同化作用閾値を高めるため、健常者と同レベルのアミノ酸を摂取しても十分な同化作用促進刺激とはなりません。また、炎症により筋蛋白の異化が促進され、同化抵抗と相まってさらなる骨格筋の減少につながります。最近注目が集まっている「サルコペニア」の原因の一つに、この炎症による骨格筋減少が考えられています。

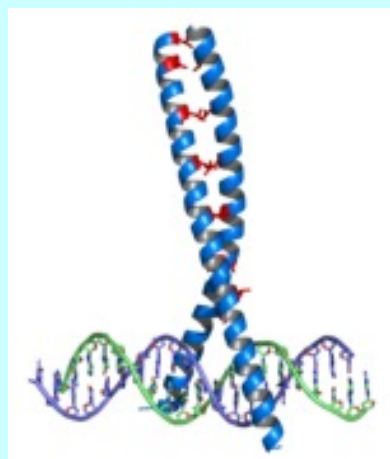
異化状態上昇と同化作用減少による骨格筋が減少した状態の対応策の一つとして、ロイシンの補給が考えられています。過去の報告において、ロイシンを補給することで補給直後に筋蛋白合成を高めることが示されています。しかし、長期的に調査した報告では筋肉質量の増加にはつながらなかったとされています。この機序として、ロイシンは他のアミノ酸と異なり腸内での吸収速度が速いため、食後の短時間しか筋蛋白同化作用を刺激しなかったことが考えられています。そこで次に、高容量のロイシンと共に他の蛋白質の摂取量も増量したところ、長期的な効果が得られたことが報告されて

います。しかし、この方法には大きな問題があります。ある調査において、1日分の80%量のロイシンが豊富な蛋白質を1度の食事で摂取させたところ、大量の窒素代謝産物が生じ、腎臓への負担が増加してしまっただけです。高齢者では腎機能が低下している方が多いため、腎不全を悪化させるリスクが高まってしまっただけです。

もう一つの対策として、炎症状態を改善させることで同化作用閾値を改善させることが挙げられています。炎症は身体への侵襲刺激 (疾病や外傷など) で上昇することは広く知られていますが、最近では老化によっても炎症マーカーが上昇することが明らかとなっています。そのため、高齢者では身体機能が低下することで侵襲を受けやすくなるに加えて、老化による炎症も筋蛋白同化を阻害する因子となっています。これに対して抗炎症性薬物や抗酸化物質の有効性が検証されていますが、短期的な有効性は示されていますが、長期的な効果に関してはまだ明らかになっていません。

以上をまとめると、炎症による異化亢進状態および筋蛋白同化抵抗に対して、筋蛋白合成を効率よく高めるためには、①上昇した筋蛋白同化閾値を考慮して蛋白質摂取量を増加する。この際ロイシンの割合を多くする、②炎症を改善させることで筋蛋白同化閾値を低下させることの2つの戦略を併用していくことが有効であることが示されています。

(文責 : 宇野 勲)



PT Walker くまもとの理学療法情報 熊本

★(介護予防)通所介護

(介護予防を目的として)老人デイサービスセンターなどで提供される、入浴、排泄、食事などの介護、そのほかの日常生活を送るうえで必要となるサービス及び機能訓練をいいます(ただし、認知症対応型通所介護に当たるものを除きます)。利用者は老人デイサービスセンターなどを訪れてこれらのサービスを受けます。通所(介護予防通所)介護を利用できるのは、居宅(ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます)で生活を送る、「要介護(要支援)」と認定された人です。

★(介護予防)認知症対応型通所介護

(介護予防を目的として)認知症にある人が、老人デイサービスセンターなどを訪れて利用する、入浴、排泄、食事などの介護、そのほかの日常生活を送るうえで必要となるサービスなどや機能訓練をいいます。

(介護予防)認知症対応型通所介護を利用できるのは、居宅(ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます)で生活を送る、「要介護(要支援)」と認定された人です。

県内で理学療法士が通所介護に所属している施設を地区ごとに紹介します

◆ : 通所(介護予防通所)介護 ● : (介護予防)認知症対応型通所介護

★熊本市ブロック

- ◆ フードパルデイサービスセンター天草◆
- ◆ 箱根崎デイサービスセンター◆
- ◆ ● デイサービスセンター星の里◆●
- ◆ 阿蘇みやま荘デイサービスセンター◆
- ◆ みどりの館デイサービスセンター◆
- ◆ みどりの里デイサービスセンター◆
- ◆ ● いずみの里デイサービスセンター●
- ◆ ● ひろやす荘(介護予防)通所介護事業所◆●
- ◆ ● リハビリデイサービスセンターしん◆●
- ◆ つばき園デイサービスセンター◆
- ◆ ● 生活リハビリ館◆●
- ◆ ● さくらの苑デイサービスセンター◆●
- ◆ ● はなそのケアセンター◆●
- ◆ ● リハビリケアセンター◆●
- ◆ ● ケアサポートメロン◆●
- ◆ ● シルバー日吉デイサービスセンター◆●

★県北ブロック

- ◆ (有)ライフケア◆
- ◆ デイサービスセンターハルコスモス◆
- ◆ 有明ホームデイサービスセンター◆
- ◆ ● みかわの森介護センター◆●
- ◆ ● リバーサイド熊本◆●
- ◆ ● デイサービスセンター菖蒲苑◆●

★八代ブロック

- ◆ 照古苑デイサービスセンター◆
- ◆ 大野橋デイサービスセンター◆

★天草ブロック

- ◆ ● デイサービスセンター松朗園◆●
- ◆ ● デイサービスセンター新谷◆●

★県南ブロック

- ◆ ● デイサービスセンター五松園◆●

* 熊本県介護サービス情報公表センターのHP(平成24年2月現在)および平成23年10月1日現在の会員名簿を元に作成しています。記載漏れ等ありました場合は御連絡下さい。

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

「ルーペ付き爪切り」

老眼が進んでくると小さいものが見にくくなってきます。特に手足の爪を切る際、よく見えずに切りすぎて痛い思いをしたことはありませんか。

「ルーペ付き爪切り」は、爪切りに見やすい大きめの拡大レンズがついたもの。レンズの倍率は2倍、爪切り本体の長さは12・5^{センチ}です。

通常の爪切りと同じように、ハンドルをくるっと回し、ハンドル部分についているルーペを倒します。ルーペは角度の調整もできるので、爪が見やすい位置に調整することも可能です。手持ちルーペや卓上ルーペとしても使えます。

その他、握力が弱い人用に軽い力で切れるもの、刃の向きが変えられる首振りヘッド式のものなど色々なタイプの爪切りがあります。



拡大レンズで見やすく

「プッシュユワン醤油差し」

醤油差しをうっかり倒して食卓を汚してしまった。思った以上に醤油がかかってしまった。こんな困った経験は誰にでもあるのではないのでしょうか。

「プッシュユワン醤油差し」は、一押しで一滴ずつ醤油が出るのでかけ過ぎの心配がいりません。押し加減で量を微妙に調整することもでき、底が広がっているので倒れてもこぼれにくい構造です。

真上にあるボタンを押しながら醤油差しを傾けて、一滴ずつ出していきます。適当な量になったら、醤油差しを立てて指を離します。

お寿司や漬物など、ちょっとだけ醤油がほしい時にも重宝しそうです。内容量は40^{ミリ}と47^{ミリ}があります。



かけ過ぎの心配なし

「お薬取出器トリダス」

錠剤が小さくて取り出しにくい。錠剤を出す際にどこかにすぐ飛んでいってしまう。錠剤やカプセルなどの薬を飲む際に困ってしまったことはありませんか。

「お薬取出器トリダス」は、錠剤など包装シートに入った薬を、パチッと簡単に取り出すことができます。押し棒の下に錠剤やカプセルをセットし、指もしくは手関節で押し部を押すと、1錠ずつお薬ケースに薬が入ります。お薬ケースを引き出して飲むことで、薬を落としたり、飛んでいく心配もありません。

手で持ったの使用も、机に置いての使用も可能です。病气やケガで片手しか使えない方でも、滑り止めゴム付きで置いて使用する場合も安心です。



片手で押すだけ簡単



「どんな“オモチャ”を買ってあげていますか？」

今回は、1歳前後の子どもにどんな“オモチャ”がいいか紹介しようと思います。

まず、オモチャを紹介する前に**1歳頃の発達特徴**を考えてみましょう。

- 5～6ヶ月頃に可能となった寝返りやすり這いの移動手段を用いて活発に外界に働きかけることで、さらに四つ這い移動や歩行を獲得し行動範囲を広げていきます。
- お座りが安定し、手指を用いて周囲の物を操作することで、手指の巧緻性が高まると同時に、物と物の関係性を理解するようになります。物事の内容を発達させ、周囲のものが意味あるものとして存在するようになってきます。
- “ことば”においては、喃語を話し始め、発声がよく聞かれるようになってきます。よくお話する子どもは周囲の人の言葉を真似て“バイバイ”“ねんね”などを言ったり、2語文（マンマちょうだいなど）を話すようになります。
- 人見知りが見られるのもこの時期です。“初めて出会う人”“初めての場面”をととても警戒し親に隠れています。徐々に慣れると初めての人でも少し遊べることもあります。
- 自己主張が見られるはじめるのもこの時期で、子どもは自律的に一人の個人として行動しようとする傾向もみられるようになってきます。
- 遊びは、これまでのオモチャを使った遊びから、身の回りにある生活道具を親の真似をしながら遊ぶことがよく見られるようになります。

子どもの発達に応じた遊びとオモチャ

歩行を獲得するこの時期は、体をダイナミックに動かす遊びが大好きで、トコトコと走り回ったり、少し高い台によし登ったり、お父さんの高い高いやぐるぐる回しなどをとても喜びます（図1）。

一方で8ヶ月頃に、物と物の関係性を理解するようになり、周囲に対して感じる遊びから、物を操作して遊ぶようになってくると、オモチャも“手に取るオモチャ”から“操作して遊ぶオモチャ”が好きになってきます（図2）。

さらに、親の行動をよく観察しており、親の真似をしようとするので、食事などの生活動作を自分でしようしたり、食器、鍋の出し入れや洗濯物をカゴに入れたりなど簡単なことを一緒にお手伝いしようとするので、失敗してもいいので子どもに経験させたり、子どもを手伝ってできるようにするといった生活場面のなげない行動が遊びとなります（図3）。この際に、子どもができた褒めてあげるとさらに繰り返しようとする。1歳頃になると“ことば”を発するようになり、周囲の“もの”“行動”を「ことば」で表現するようになりますので、子どもの未熟な表現（マンマ、ワンワンなど）でも、子どもの“はなし”や“訴え”をよく聞いて子どもの表現する言葉自体をオウム返し（マンマほしいの？ワンワンいるね！など）してあげると、子どもはさらに「ことば」を使おうとします。

以上、1歳頃の子どもの様子をまとめてみました。この時期は特別なオモチャが必要というより生活経験すべてが遊びとなりますので、子どもの主張をよく汲み取りながら一緒に遊ぶことが大切になってくると思います。

（文責：浪本正晴）



図1 高い高い



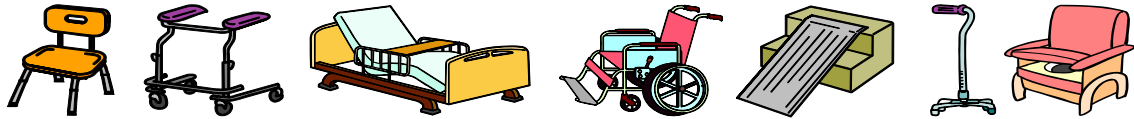
図2 入れてみるオモチャ



図3 生活動作の模倣

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市東区尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市東区八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市中央区本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市中央区大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市東区小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市東区尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



編集後記

春の日差しが嬉しい今日このごろですね。道端の草花が、我先にと私達に春の到来を教えてくれているようです。私も草花のように、患者さんに春が近いことを教えてあげたいと思います。(C・K)

社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第 108 号 通算 145 号
 発行日 平成 25 年 3 月 18 日
 発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
 〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35
 TEL/FAX 096-389-6463



STAFF

坂田 大介	岩村 泰年
江口 宏	中野 真実
緒方 美湖	山田祐理子
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	北岡 千春
渡邊 知子	松本 美香
有馬 正英	古川 晃次
柏田 麻美	渡邊 大輔
福田 圭祐	南 留美子
岩見 幸省	野尻 晋一 (表紙)

事業予定表

4月		5月		6月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	月	1	水	1	土
2	火	2	木	2	日
3	水	3	金	3	月
4	木	4	土	4	火
5	金	5	日	5	水
6	土	6	月	6	木
7	日	7	火	7	金
8	月	8	水	8	土
9	火	9	木	9	日
10	水	10	金	10	月
11	木	11	土	11	火
12	金	12	日	12	水
13	土	13	月	13	木
14	日	14	火	14	金
15	月	15	水	15	土
16	火	16	木	16	日
17	水	17	金	17	月
18	木	18	土	18	火
19	金	19	日	19	水
20	土	20	月	20	木
21	日	21	火	21	金
22	月	22	水	22	土
23	火	23	木	23	日
24	水	24	金	24	月
25	木	25	土	25	火
26	金	26	日	26	水
27	土	27	月	27	木
28	日	28	火	28	金
29	月	29	水	29	土
30	火	30	木	30	日
		31	金		

<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年度事業監査 ●県北ブロック会議 ●八代ブロック会議 ●天草ブロック会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●第29回医療保険診療研修会 ●第3回県民健康スポーツ教室 ●第1回天草ブロック勉強会 ●第1回県南ブロック勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ●第55回学術研修会 ●第14回介護保険診療研修会 ●第8回臨床実習教育研修会(6月または7月) ●熊本市ブロック菊阿地区会議
--	--	--

県コード

1	北海道
2	青森
3	秋田
4	岩手
5	宮城
6	山形
7	福島
8	茨城
9	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	静岡
22	岐阜
23	愛知
24	三重
25	京都
26	滋賀
27	奈良
28	和歌山
29	大阪
30	兵庫
31	岡山
32	広島
33	鳥取
34	島根
35	山口
36	徳島
37	高知
38	香川
39	愛媛
40	福岡
41	長崎
42	熊本
43	大分
44	佐賀
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄
48	海外

最終学歴

1	中学（旧制小学・高等小学校含む）
2	高等学校
3	専門学校
4	短期大学（旧制高等学校含む）
5	大学（学位授与機構含む）
6	大学院修士課程修了（博士課程前期）
7	大学院博士課程修了（博士後期課程）
8	高等専修学校
9	その他

学位称号

1	なし（学位または称号は有していない）
2	学士
3	修士
4	博士
5	準学士
6	専門士
7	高度専門士
8	その他

施設区分 I

A	B
1	大学病院
2	総合病院
3	一般病院
4	老人病院
5	小児施設
6	老人施設
7	教育施設
8	行政機関
9	保健所
10	その他
11	不明
	1 厚労省（含：国立病院機構）
	2 文科省（含：国立大学法人）
	3 労働者健康福祉機構
	4 旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
	5 都道府県
	6 市町村
	7 日赤
	8 済生会
	9 北海道社会事業協会
	10 厚生連
	11 国民健康保険団体連合会
	12 厚生年金事業振興会
	13 厚生団
	14 船員保険会
	15 健康保健組合及びその連合会
	16 共済組合及びその連合会
	17 国民健康保険組合
	18 公益法人
	19 医療法人
	20 私立学校法人
	21 会社
	22 その他の法人
	23 老人福祉施設
	24 身体障害者更生援護施設
	25 児童福祉施設
	26 知的障害者援護施設
	27 その他の社会福祉施設
	28 個人
	29 その他
	30 不明

異動届記載用資料

施設区分Ⅱ

A		B	
1	医療施設	病院	1 大学病院
			2 総合病院
			3 老人病院
			4 小児病院
			5 一般病院(上記以外) 一般病床
			6 一般病院(上記以外) 療養型病床
			7 感染症病院
			8 精神病院
			9 結核病院
			10 ハンセン病院
			11 地域支援病院
			12 その他
2	医療施設	診療所	1 有床診療所
			2 無床診療所
			3 療養型病床群
			4 その他
3	医療施設	不明	1 その他
4	医療福祉中間施設	医療福祉中間施設	1 介護老人保健施設
			2 老人訪問看護ステーション
			3 老人デイサービス
			4 老人デイケア
			5 その他
5	老人福祉施設	老人福祉施設	1 養護老人ホーム
			2 特別養護老人ホーム
			3 軽費老人ホーム
			4 老人デイサービス
			5 老人福祉センター
			6 老人短期入所施設
			7 有料老人ホーム
			8 介護付き有料老人ホーム
			9 在宅介護支援センター
			10 高齢者総合相談センター
			11 その他
6	介護保険法関連施設	介護保険法関連施設	1 地域包括支援センター
7	身体障害者福祉施設	身体障害者更生養護施設	1 肢体不自由者更生施設
			2 重度身体障害者更生養護施設
			3 重度障害者授産施設
8	身体障害者福祉施設	身体障害者療護施設	1 身体障害者療護施設
9	身体障害者福祉施設	重度身体障害者授産施設	1 重度身体障害者授産施設
10	身体障害者福祉施設	身体障害者福祉センター	1 身体障害者福祉センター A型
			2 身体障害者福祉センター B型
			3 在宅障害者デイ・サービス施設
11	身体障害者福祉施設	身体障害者更生相談所	1 身体障害者更生相談所
12	児童福祉施設	知的障害児施設	1 知的障害児施設
13	児童福祉施設	知的障害児通園施設	1 知的障害児通園施設
14	児童福祉施設	肢体不自由児施設	1 肢体不自由児施設
			2 肢体不自由児通園施設
			3 肢体不自由児療護施設
15	児童福祉施設	重症心身障害児施設	1 重症心身障害児施設
16	児童福祉施設	情緒障害児短期治療施設	1 情緒障害児短期治療施設
17	児童福祉施設	児童相談所	1 児童相談所
18	児童福祉施設	心身障害児総合通園センター	1 心身障害児総合通園センター

A		B	
19	精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設	1 精神障害者生活訓練施設
			2 精神障害者授産施設
			3 精神障害者地域生活支援センター
20	精神障害者社会復帰施設	精神保健福祉センター	1 精神保健福祉センター
			21 精神障害者社会復帰施設
22	精神障害者社会復帰施設	精神障害者グループホーム	1 精神障害者グループホーム
23	精神障害者社会復帰施設	精神障害者小規模作業所	1 精神障害者小規模作業所
24	知的障害者福祉施設	知的障害者支援施設	1 知的障害者更生施設
			2 知的障害者授産施設
25	知的障害者福祉施設	知的障害者更生相談所	1 知的障害者更生相談所
26	障害者自立支援施設	指定障害者福祉サービス事業所	1 生活介護事業所
			2 自立訓練(機能訓練)事業所
			3 多機能型事業所
27	障害者自立支援施設	指定障害者支援事業所	1 生活介護支援事業所
			2 自立訓練(機能訓練)支援事業所
28	障害者自立支援施設	指定相談支援事業所	1 指定相談支援事業所
29	障害者自立支援施設	指定地域活動支援センター	1 指定地域活動支援センター
30	教育・研究施設	特別支援学校	1 肢体不自由児
			2 知的障害児
			3 その他
31	教育・研究施設	教育・研究施設	1 理学療法3年制専門学校教員
			2 理学療法4年制専門学校教員
			3 理学療法短期大学教員
			4 理学療法大学教員
			5 理学療法以外の大学教員
			6 研究施設
			7 その他
32	行政関係施設	行政	1 保健所
			2 市町村保健センター
			3 国
			4 都道府県
			5 市
			6 町
			7 村
			8 社会福祉協議会
			9 身体障害者福祉協議会
			10 その他
33	健康産業	健康産業	1 スポーツ関係施設
			2 フィットネス施設
34	その他	その他	1 職業センター
			2 リハ関連企業
			3 一般企業
			4 補装具作成施設
			5 訪問看護ステーション(老人訪問看護ステーション)
			6 介護サービス企業
			7 自営・開業
			8 自宅(勤務しているが自宅会員登録)
			9 休業中(会員だが休業しているもの)
			10 その他
35	不明		1 不明

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日			
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日			
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)			
氏 名	姓	名	印				
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度		
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)		
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 [][][][] - [][][][][]						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
	Eメールアドレス						
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ						
	名 称						
	所属部署						
	〒 [][][][] - [][][][][]						
	住所	都道 府県		電話	FAX		
施設区分	I	A群	—B群	II	—		

会費納入	本部会費	年度納入済	連絡事項
	都道府県士会費	年度納入済	
	クレジットカード発行 (○で囲む)	済 未	

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

